

令和6年

7月号

No.657



日蓮宗

法音寺



今月のご法話

言葉の力

# 悦可衆心

よい教えを伝えよう  
おし った

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

## 月刊・法音 令和6年7月号 No.657 目次

【信仰の指針】言霊ことばたま 言葉には神秘的な力が宿っています 1

言葉の力 山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内 22

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 21

【特集】令和6年 御開山会 24

◆ ほうろく加持・虫封じ祈祷のご案内 28

◆ 仏教漫画『日蓮さま』・27安産の祈り 29

◆ 安産の祈り 37

◆ お寺の本棚 38

◆ 常寂光土への誘い(24) 40

◆ のりのね体験 44

◆ 支院だより 46

◆ 福祉のひろば 51

○ 幸せのお手伝い 52

○ 昭徳会・永年勤続職員褒賞授与式・助成金等交付式を挙行 54

○ 日本福祉大学各分野で活躍する本学教員や学生の教育研究内容を学長が発信 56

◆ 賛助員ご芳名 58

◆ 幸せの種まき／編集後記 60

◆ 連載まんが・ひまわり 138 悪口から卒業 61

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 61

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁、21頁・梅田雅臣氏撮影

2頁、24頁、27頁・加納将人氏撮影

表紙写真・しょうぶ

信仰の指針

こと  
と  
だ  
ま

言  
霊

言葉には神秘的な力が

宿っています

日  
教  
五



山ボウシ



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

# 言葉の力

私が理事長をしております昭徳会が経営する施設の中に、自閉症と診断された知的障がい者を支援する泰山寮があります。昨年退職した寮長が、若い頃、施設に入所している男の子に親指の先を噛みちぎられたことがあります。

後で事情を聞いてみたところ、次のような経緯でした。ちようどクリスマス前の時期、その子がとても横着だったので、「そんな風だと、お前だけサントさん来ないぞ」と言ったところ、いきなり噛みつかれたそうです。その時に寮長は、普段は全く言葉が通じないのに……と不思議に思ったのです。後でわかったのですが、ほめ言葉や、逆の嫌な言葉は感覚的にわかるようです。



昔から日本人は言葉には、特別な霊力が宿っていると信じてきました。「言霊」信仰です。どんな言葉にも、その言葉の持つ波動のような力があるというのです。

言葉は、人間だけでなく動物や植物にも通じ、影響を与えます。犬や猫を飼っている方は言葉が動物に通じ、ことをよくご存じだと思えますが、言葉は植物にも通じるのです。例えば庭の花がきれいに咲いた時、「きれいに咲いたね」とほめると、また次もきれいに咲くそうです。

以前、日本テレビの番組の中で、サボテンと話ができる主婦が登場しました。主婦が庭のサボテンに話しかけると、それに応えて返事をするというのです。サボテンに4Dメーター（四次元波受信器）という機械をつなぐとサボテンの発する声（音）が聞けるのです。

この実験は他のテレビ局の特番でも何度か紹介されています。



4Dメーターにつないだキャベツやダイコンを切ろうとすると悲鳴のような音を発するそうです。実際に切ると、大きな音を発してから無音になるといいます。

こういう話を知ると、料理ができなくなりそうですが、私達は命あるものを食べなければ生きていくことができません。他の命をいただいて生かされているのです。すべての食べ物に日々心から感謝しなければと思います。

言葉は生きものだけではなく、無生物にも通じます。昔、上野支院の犬飼妙淳法尼が「日常使うもの、例えば掃除機や洗濯機、冷蔵庫に毎日『ありがとう』と感謝の言葉をかけてお題目を唱えらると、故障せず、すごく長持ちしますよ」と言われていました。

経営コンサルタントの船井幸雄さんも「言葉は物にも通じる」と、ご自分の体験を講演で話しておられました。



今の自動車は走行中に燃費の表示が出ますが、船井さんが高速道路を走行中、車に「ありがとうございます」と言い続けたところ、燃費がどんどん良くなったといえます。このことから船井さんは「言葉は物にも通じる」と言っておられるのです。

私も車に乗る度に声をかけるようにしています。朝、自宅を出発する時、「今日もたのむよ」と。また帰宅して車を車庫に入れた時、車体を触って「一日ありがとう」と言います。車は自分の命を運んでくれるものですから、そういうふうには声をかけるのも良いかなと思っています。

無生物には言葉が通じるだけでなく、思いを込めることもできません。北川八郎さんという繁栄の法則を説く経営コンサルタントがいます。普段、仙人のような生活をされている方ですが、私は「真実の経営論」を説かれて



いると感じています。

その北川さんの講演会に、あるパン屋さんが来ていました。講演後そのパン屋さんが自分の作ったパンをお土産に、北川さんに会いに来ました。

「うちのパンには何かもう一つ足りないものがあると思  
うんです。それを先生に教えてもらいたくて来ました」  
「どういうパンを目指していますか？」

「皆さんが本当においしいと言ってくださるパンを目指  
しています」

北川さんが少し食べてみると、とてもおいしいパンで  
した。

「では、パンの中に癒しの心を込めることをしてみても  
どうですか。つまり、作る時に、このパンを食べた人が  
安らぎ、心の痛みが取れますように。このパンで多くの  
人の心が癒されますように」と祈りながら作るのです」



このパン屋さんには「わかりました。良いことを聞きました」と、それ以来祈りを込めてパンを作るようになり、意図せず、結果的に商売繁盛につながったそうです。

北川さんは陶芸家でもありますが、器を作る時に「この器を手にする人に、神の恵みがありますように」病の人は、病が軽くなりますように、怒りの人は怒りの森から抜け出られますようにと祈りを込めるそうです。

東京のデパートで個展を開いて陶器を売っていた時のことです。デパートの人が「北川さん、どうも苦情の電話のようですよ」と言うので電話に出てみると、陶器を買った男性からの電話でした。聞いてみると、その人の奥さんは随分前から目を悪くして、最近ほとんど見えなくなっていたそうです。その奥さんが北川さんの作った湯呑みを手にとって、「この器はなんて優しいの。これを持っているだけで心が癒されるわ」と言って涙を流



したというのです。それを見ていたその人は、変な器ではなかるうか？と不審に思っで電話してきたというのです。北川さんは、その時改めて、優しさや安らぎ、癒しを祈りに込めることの大切さを強く感じたそうです。

思いは物に伝わり、人の心に入っていくます。物を作る時、売る時、良き祈りを込めることは本当に大事だと思ひます。

言葉というものに私達は影響を受けますが、お医者さんの言葉はその影響、大であると思ひます。2012年に天皇陛下（現・上皇陛下）の冠動脈バイパス手術を執刀された天野篤先生はその後、順天堂大学医学部附属順天堂病院の院長にられました。普通、そのような先生にはなかなか手術をしてもらえませぬ。「神の手」と呼ばれ、天皇陛下の手術を執刀したような偉い先生ですか



らあたりまえです。ところが、天野先生は一日に4件の手術をされることもあるそうです。また、どんな人でも分け隔てなく手術をされます。運良く天野先生に手術をしてもらえることが決まった人は、神の手に手術をしてもらえる」と大喜びです。しかし、謙虚な天野先生が「私は何も特別ではありませんよ」と言うのと、患者さんはガツカリして帰って行ったと言います。そこで天野先生は、言葉が大事だ」と思われ、「天皇陛下の手術からもう何年も経っています。その間に私もさらに進化してきますから任せてください」と言うようにされたそうです。言われた患者さんは、もう治ったような気分です。帰って行ったそうです。

お酒がお好きだった天野先生は、天皇陛下の手術をする前の晩も、助手の医師や看護師さん達と一緒にイタリア料理を食べながら、ワインを飲まれたそうです。しか



し、今はいつでも、24時間対応できるようにお酒を止められたそうです。

『幸せはガンがくれた』という一風変わった題名の本を書いた川竹文夫さんという方がいます。この方はNHKでテレビのディレクターをしていました。腎臓ガンを克服され、その後、NHK教育テレビスぺシャル『人間はなぜ治るのか』というガン治療に関するドキュメンタリー番組を作られました。自らの心の力によって絶望から生還し、真の健康と新しい人生を築いたガン患者さん達の喜びに満ちた証言は、多くの人に希望と勇気を与え、大きな反響を呼びました。その内容を書籍化したのがこの本です。川竹さんはこの本で興味深い話をたくさん書いておられます。その中に「言葉が癒す」という章があります。そこに心臓病が誤解によって治ったという話があります。



ハーバード大学・医学部に心臓治療の権威のバーナード・ローンという先生がいました。その先生のところに着目した心臓発作を起こした患者さんが運び込まれてきました。ある朝の回診の時、ローン先生が患者さんの胸に聴診器をあてるなり、医局員達に向かつて「完全なサード・ハート・サウンド・ギャロップ（第三音奔馬調）を示している」と言いました。それは心臓が末期的症状であることを意味していました。もはやどんな治療も効果がないということですから。ところが、その日を境に患者さんは持ち直し、ついには退院していったということです。奇跡が起こったのです。

数カ月後の検診で、ローン先生はその患者さんに、どうして良くなったのかと思わず尋ねたところ、その患者さんは言いました。「実は病院に入院した時にはもう助からないかと思っていたのです。ところが、ある朝



の回診の時に先生は私の心臓は『馬のように元気だ』と言われましたよね。それを聞いて、治るぞ。生きるぞ。』  
とおも  
と思ったのです」

「ギャロップ」という言葉を誤解したのです。ギャロップとは馬が疾走する。という意味です。ローン先生は心臓が制御不能な末期の状態だ。ということを使ったのですが、患者さんは、自分の心臓はまだ馬のように元気だ。まだまだ死なない。大丈夫だ。と受け止め、その言葉に勇気をもらって元気になったのです。

もう一つ紹介します。福島県立医科大学に熊代永さんという精神科の教授がいました。この方の旧知の女性が乳ガンの末期で、ある病院に入院していました。本人も家族も非常に落ち込んでいたため、何とか励ましたいとおも、自然退縮（治療を受けずにガンが自然に小さく



なり、消失・治癒すること）の研究をしている中川俊二  
という人の書かれた本を持って見舞いに訪れたそうです。  
どんな末期でも治ることがあることを知ってほしくて、  
その女性にその本を読むことを勧めました。

四週間後、再びその女性を見舞いに病院へ行ったところ、病棟の廊下で担当医とすれ違いました。その医師がいきなり言いました。

「どうも不思議なことがあるものです。たった一度の見舞いが関係あるとは思えないのですが、あの患者さんは先生が見舞われた次の日から、急にどんどん良くなって、歩いて退院して行きました。先生は精神科医ですが、そのことと関係があるのでしょうか。不思議です」

この言葉を聞いた熊代先生は驚いて、その女性の自宅を訪ねました。家族は何度もお礼の言葉を述べながら、次のように言いました。



「熊代先生が見舞いに来られたのは午後でしたが、同じ日の午前中に別の見舞客があつて、その人も患者を励まそうと自然退縮の新聞記事を見せたのです。そんなこともあるのかと思つていると、今度は熊代先生が来られて同じ話をされたのです。一日に二度も同じ話を聞き、二度目は専門家の先生の話でした。本人は深く納得し、感動して、〃よし、私も、これで行く〃と決意し、それを境にみるみる元気を回復したのです」

熊代先生が、「ご本人は今どうされていきますか」と聞くとき、「畑仕事に行つてます」とのことでした。

西洋医学の父と讃えられる古代ギリシャの医師ヒポクラテスは、「病気を治す上で一番大切なものは、〃言葉であり次に薬草、その次がメス（手術）である」と言っています。

川竹さんは1997年にNPO法人『ガンの患者学研



究所』を設立し、独自の学問体系である「ウェラー・ザン・ウエル」を創始しました。ウエルとは、ガンになる以前の健康な状態。ウェラーとは、それよりもさらにもっと健康な状態。つまり、自らの努力によってガンを治した人は、ガンになる以前よりも心身ともに、はるかに健康で幸せな人生が送れるようになる。という意味だそうです。

2003年に川竹さんの研究所が「ガン患者千百人集会」というものを主催しました。現在闘病中の患者千人と、末期ガンから生還した人百人が集いました。そして、生還者が自身の体験をユーモラスに語るのです。

大腸ガンを克服した人の話です。手術の前に激痛があり、その人は担当医に「とにかく、ほかの患者さんよりも、私の手術を早くしてください」と言いそうになったそうです。2回目の激痛が襲ってきた時、「先生、手術の道具を持ってきてください。自分で手術しますから」



と言ったそうです。そして3回目の激痛が襲ってきた時、痛みで気を失いそうになりながら、ナースコールを押して思わず叫んでしまったそうです。

「救急車を呼んでください！」

その人は自分で言いながら笑ってしまいました。するとスーツと痛みが消えたそうです。

次は、末期の肺ガンを克服した人の話です。この人は学生時代に落語研究会にいて、おもしろい話を考えるのが得意だったそうです。肺ガンの手術をした晩、開胸手術をしたため、息をする度に傷口が痛んだということです。そして痛みがある度にナースコールを押しました。最初のうちはいいけど、5回も6回もとなると、さすがに看護師さんも、「またですか。もう『痛い、痛い』ばかり言うけれど、一つぐらい痛くない所はないの？」と言ったそうです。



それに対してこの人は言ったそうです。

「ある、あなたと一緒にいたくない」

この人は、ガンを克服した後、会社を退職し、年に一度9月にガン患者やその家族を招待して「いのちに感謝の落語会」をボランティアで開いているそうです。ガン患者や集会に集まった人達の多くが、この落語会に行くのを楽しみにしているそうです。

名古屋在住の人で、末期の前立腺ガンを克服した人がいます。体調不良で検診を受けて、お医者さんから余命3カ月を宣告されました。ホスピスを勧められたのですが、それを断り、経営していた会社を人手に渡し、公私ともに身の整理をし、痛み止めを使いながら食生活だけを注意して、これまでできなかったことをたくさんやっていたそうです。楽しいことをしながら人生を満喫していた7年目、突然の発熱で意識を失って緊急入院し、検査



の結果、何とガンが消えていたそうです。お医者さんも首をかしげるばかりだったそうです。

この人は余命宣告をされてから、今日一日を「ありがとう」の感謝の心で生きていたそうです。

もう一つ、この人がしたことがあります。

「良くなる良くなる。きっと良くなる。ずんずん良くなる。必ず良くなる」という言葉を毎日何度も唱えていたのです。そして同じことを紙に書いて、いろいろな場所に貼ったそうです。この人は65歳で余命宣告をされましたが、それ以後82歳まで元気に楽しく過ごされました。まさにウエラー・ザン・ウエルの人生だったのです。

体験談発表の後、今度は質疑応答を繰り返す分科会が行われます。治った話をこれでもかと聞いた闘病中の人達は、だんだん自分も治る、という気分が高まってきます。最後には、ガンを治したい千名の内から、自分で手



を上げて決意表明をする人が次々に壇上に上がります。

「Aです。今日から自分の生き方を180度変えて絶対  
に生き続けます」「次回の千百人集会には治った百人の  
中に絶対入ります」「余命3カ月と言われましたが、3  
カ月で治します」「今日から私は変わります。そして  
ガンよ、ありがとう」と言いたいと思います」

これらの決意表明の後には大きな拍手とともに、千百  
人全員からの大エールが会場いっぱいに響きわたります。  
「Aさんは治る。治る。治った！おめでどう！」という  
エールです。

「『Aさんは治る』と千百人が声に出して言う、この強  
い思いのこもった言葉は言われた人だけでなく、これを  
言った全員に強い影響を与え、実現に向かわせるのです」  
と川竹さんは言っておられます。  
言葉の力、思いの力は偉大です。



良い教えの話を聞きましょう。  
全国の法音寺各支院・布教所では  
毎月の講日の中で  
三徳の教えを聞くことができます。  
是非講日にご参詣いただき  
教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

岐阜支院	7月4日(木)	四日市支院	7月13日(土)
福山支院	7月14日(日)	東京支院	7月20日(土)
大阪支院	7月28日(日)		

# 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	7日・14日・20日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・14日・22日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・14日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・12日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・20日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	6日・14日・20日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・28日	郡上市八幡町小野7-2-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・11日・20日	伊賀市上野向島町3-4-7-5	

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	7日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	14日・23日・28日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	7日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	13日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙9-10	☎(0799)421-0175
岡山支院	7日・9日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	10日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	7日・14日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	13日・28日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	6日・21日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	13日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	7日・15日・21日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)44-5445
筑後布教所	14日・28日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	7日・28日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・21日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・28日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	8日・28日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)



令和6年  
御開山会









令和  
6年

# ほうろく加持 虫封じ祈禱

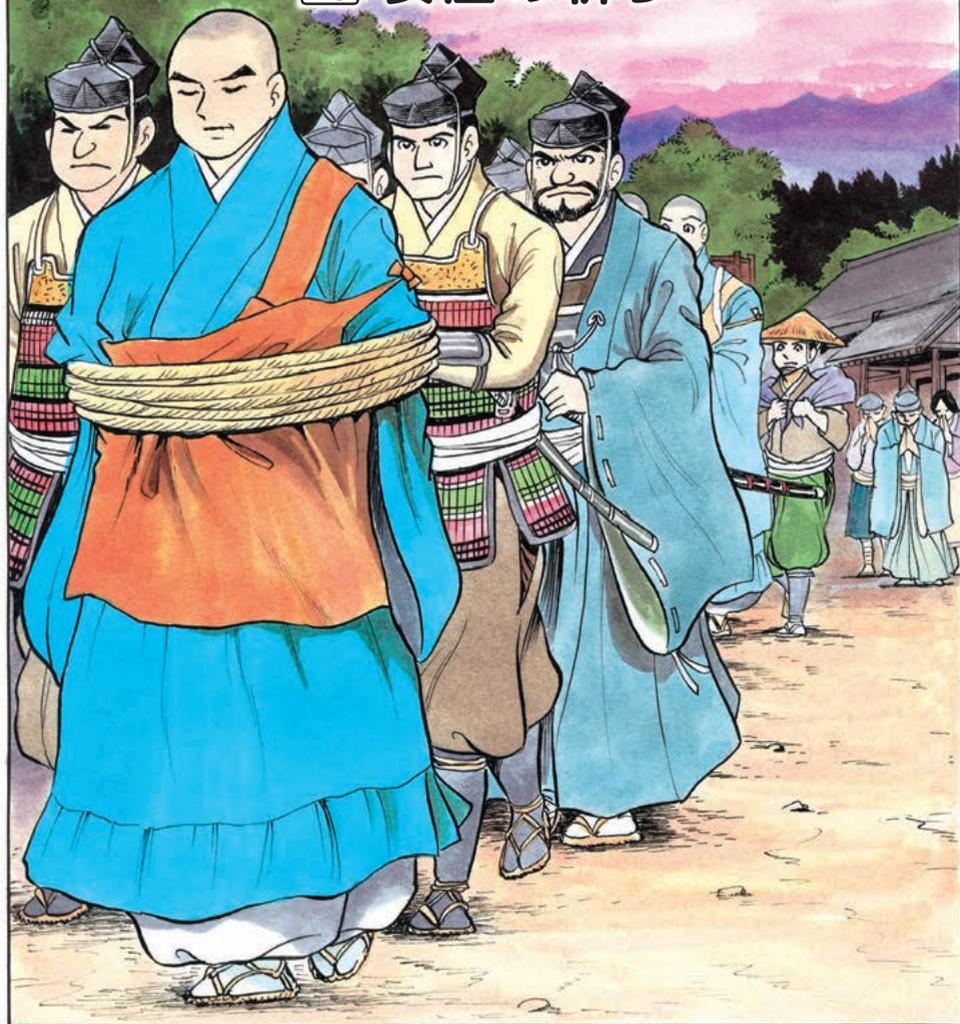
昔から頭痛は「悪鬼」の障り、子どもの体調不良は「かん虫」が原因と言われてきました。ほうろく加持は、頭痛除けと暑気払いのため、虫封じは、子どもが健康に過ごすためのお祈りです。大人も子どもも、夏を乗り切る元気をいただきましょう。

中国（福山支院）	7月14日[日]
関東（東京支院）	7月20日[土]
東海（本山）	7月21日[日]
関西（大阪支院）	7月28日[日]

※お寺に来られない方もタオルや衣類などでご祈念いたします。  
※どなたでもお受けいただけます。  
※お問い合わせは最寄りの支院・布教所まで。

に ち れ ん  
日蓮さま

27 あんざんいの  
安産の祈り



相模国 依智  
 本間重運の屋敷

お上人さま  
 客人がおこしです



よく  
 ご無事で!

お上人さま...



日興 日向 熊丸  
 富木殿のご家来衆まで  
 みな よう来てくれた

もう離れません  
 どこまでも  
 ご一緒します

私達がお供いたします



ありがたいことだ  
 ところで鎌倉の方はどうだ  
 私がこのようなありさまなので  
 皆動揺していることだろう

近頃鎌倉では  
 つけ火 辻斬りが横行し  
 これは日蓮の残党のしわざに  
 ちがいないとの噂が広まりました



日蓮殿  
そろそろ  
ご出発のご用意を



なんと  
あさましいことを



信者とおぼしきものは  
首をはねよとの声があがり  
一時騒然としたのですが  
探索したところ  
犯人は念仏衆であった  
そつじごびさます



ただいまより  
囚人を佐渡まで  
護送する



お役人が到着  
したようです



この者は  
凶悪では  
ありません  
なにも縄を  
打たずとも

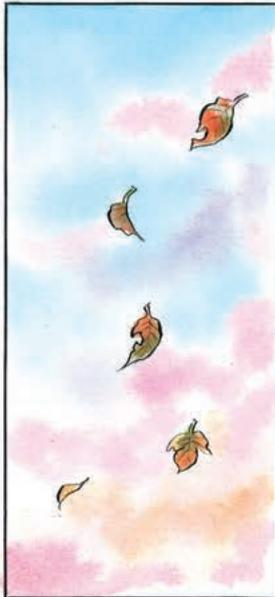
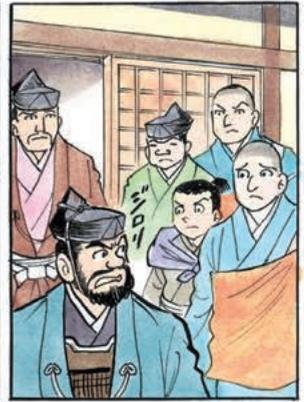
わしの役目は  
目的地まで  
囚人を運ぶことだ  
口出しするな



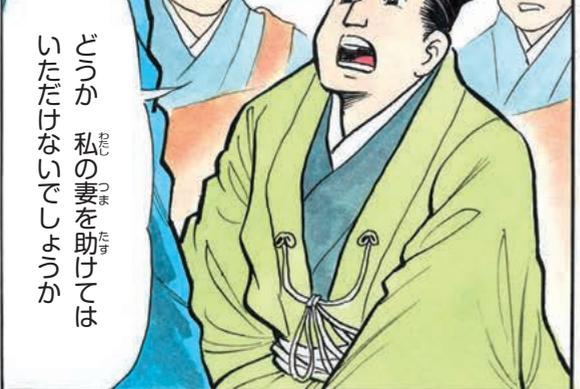
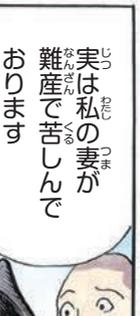
何しておる  
囚人に縄を  
打たぬか

はっ











しかしあなたの奥方が  
無事に出産できるよう  
祈願いたしましょう

私は護送中の身  
屋敷に行くことは  
かなわないでしょう



そこで ここに来て  
お上人さまを  
お待ちしていたのです

どうか私の屋敷に  
来てはいただけませぬか



それは？



日向  
矢立を持って  
おるか

はい



これを奥方のもとへ  
持っていくください

役人がもどって  
きました

ありがとうございます  
ございます



休憩は  
終わらだ  
よいな！

お上人さま  
しばしのご辛抱を



南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經



曼陀羅です  
あなたも一緒に  
祈ってください



南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

これを  
妻の枕元に

出立!



お館さま  
おめでとつ  
ございます  
元気な男子ですよ

しばらくすると  
奥方のそれまでの  
苦痛は消えて  
いきました

オホオホ  
オホオホ  
オホオホ



佐渡へ向かうそれからの  
上州路 信濃路  
越後路と  
日蓮聖人の足跡の  
残るどの土地にも  
やがて信仰の花を  
咲かす尊い種が  
まかれていきました

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

ご無事を  
お祈りいたします

お上人さま  
どうか どうか  
ご無事で...

つづく

## 安産の祈り

当時の武州新倉（現在の埼玉県和光市）で地頭を務めた墨田五郎時光は、小松原法難の3年後、日蓮聖人が房総地区で教化した折に帰依した人物と伝わっています。

佐渡流罪になった日蓮聖人が、武州新倉で時光と再会を果たします。その日、時光の妻が難産で苦しんでいたことを知った日蓮聖人は護符をしたため、安産祈願の祈祷をしたそうです。その後、庭に湧き出ている清水を汲み、難産に苦しむ時光の妻の口に注ぐと、ほどなく男の子が生まれたそうです。この時の湧き水が現在も「子安の池」として大切にされています。

その後、墨田五郎時光はこの時に生まれた息子連れ、身延山の日蓮聖人を訪ね、二人揃って出家し、时光は日徳、息子は日堅という法名をいただいたと言われています。



子安の池  
長光山 妙典寺（東武東上本線成増駅から徒歩約37分）



# お寺の本棚



『大白牛車(四)』

## 命・体は誰の物？

誰でもこの体を自分の物と思っていますが、本当にそうで

しょうか。この世界では、自分の物と主張できるのは、お金を出して買うか、自分で作るか、あるいは、誰かに贈られた物でなければなりません。しかし、私の命と体に関しては、誰もそうではありません。

誰でも、仏さまの力としか考えようのない不思議な力によって生かされています。そして必ず何かの役割・使命を持っています。

どんな人であろうと、それぞれ与えられた使命があるのです。「私なんていてもいなくても」ということを言う人がいます。そういうことは、自分で自分を作った人が言えることで、仏さまの力によって生かしていただいている者の言うことではありません。仏さまの世界は心配しなくても、もう十分だと仏さまが判断されたら引き取っていただけるので





す。少なくともこの世に生きている間は、仏さまから与えられた使命が自分にはある、と考えていかなければなりません。

親子関係について考えてみますと、自分にとって本当の父親は、ただ一人、母親もまた、一人であります。親から子を見た場合も同じです。子どもが何人いても長男は一人であり、まずし、次男も三男もそれぞれ、ただ一人しかいません。たとえ長男が亡くなって次男が後を継いでも、次男は次男で、長男になれません。

このように親子の間には、誰にも変えることのできない因縁があり、誰もとって代わることのできない役割・使命があるのです。何か問題が起きると、「私なんかいてもいなくても、どちらでもいいんだから」という、これはよく聞く愚痴であります。誰かに代わってもらおうことのできるのは、たとえばハガキをポストに入れに行くとか、車を運転するとか、言ってみれば生きていく上においてさして重大でないことばかりです。人間には皆、自分にしかできない根本的な役割・使命があるのです。このことだけは、何がどうあるうと、変わることがありません。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

# 常寂光土への誘い (24)

無量義經 十功德品第三

## 第三章 十功德品 (じゅうくどくほん)

無量義經を理解し、修行するなどのような功德が具わるか、どのような善いことができるか、そして、どのよう  
うに人々のために役立たせることができるかということをお釈迦さまが尋ねます。それに対してお釈迦さまは事細か  
に説明されます。それが「十の不思議な功德力」と言われていることであります。そして最後にお釈迦さまは大  
莊嚴菩薩に対して、「無量義經の指し示す通りに修行を重ねて、すべての人々を教化し、教えを世間に弘め、行  
き渡らせなさい」とお命じになります。

爾そのと時ときに大莊嚴菩薩摩訶薩、復また白まして言いさく、世尊せそん、世尊せそん是この微妙みみょう甚深じんじん無上むじやうだいじやう大乘むじやうだいじやう無量むりやう義經ぎきやうを説ときたもう。真実しんじつ甚深じんじん甚深じんじんなり。所以ゆえは何いかん、此この衆しゆの中なかに於おいて、諸もろの菩薩摩ぼさつま訶薩かさつ及および諸もろの四衆ししゆ・天てん・龍りゆう・鬼神きじん・國王こくおう・臣民しんみん・諸有しよいうの衆生しゆじやう、是この甚深じんじん無上むじやうだいじやう大乘むじやうだいじやう無量むりやう義經ぎきやうを聞きいて、陀羅尼門だらにもん・三法ぼうぽう・四果しか・菩提ぼだいの心こころを獲得えつとくせざることとなし。

その時に、大莊嚴菩薩摩訶薩が仏さまに申されました。

「世尊に申し上げます。世尊は無量義経をお説きになりました。これは微妙甚深であります。仏さまの信じていらっしゃるところをそのままお説きになられたのでありますから、非常に奥深いもので、考えれば考えるほどありがたくなってまいります。なぜそういうふうに申すかと言えば、今ここにいる大勢の菩薩摩訶薩・諸々の四衆、その外、天・龍・鬼神・国王・臣民、そしてあらゆる人々が、この甚深無上の大乘無量義経を聞いて、人々を善に導き、悪を止め、み教えに縁を結ぶ陀羅尼門・三法・四果（声聞四果）・菩提の心〓仏の智慧・覺りを得ない者はないからであります」

当<sup>ま</sup>に知るべし、此<sup>こ</sup>の法<sup>ほう</sup>は文理<sup>もんり</sup>真正<sup>しんじやう</sup>なり、尊<sup>そん</sup>にして過<sup>か</sup>上<sup>じやう</sup>なし。三世<sup>さんぜ</sup>の諸<sup>しよ</sup>仏<sup>ぶつ</sup>の守<sup>しゆ</sup>護<sup>ご</sup>したもう所<sup>ところ</sup>なり。衆<sup>しゆ</sup>魔<sup>ま</sup>群<sup>ぐん</sup>道<sup>どう</sup>、得<sup>とく</sup>入<sup>にやう</sup>することあることなし。一切<sup>さい</sup>の邪<sup>じや</sup>見<sup>けん</sup>生<sup>じやう</sup>死<sup>じ</sup>に壞<sup>え</sup>敗<sup>はい</sup>せられず。所以<sup>ゆゑ</sup>は何<sup>いか</sup>ん、一<sup>いつ</sup>たび聞<sup>き</sup>けば能<sup>よ</sup>く一切<sup>さい</sup>の法<sup>ほう</sup>を持<sup>たも</sup>つが故<sup>ゆゑ</sup>に。

「この法は、その中に含まれているところの意味が正しく、尊いことこの上もなく、これ以上のみ教えはないことを知らなければなりません。三世（過去・現在・未来）の諸仏がともに守護され、み教えが滅びないように念じていらっしゃる尊いみ教えであります。ひとたびこのみ教えを本当に学んだ人は、『衆魔群道、得入することあることなし』で、外から妨げられるようなことは決してありません」

「群道」とは、仏教以外のさまざまな教えのことですから、仏法を本当に学び、信仰するならば、それより低い教えに惑<sup>まど</sup>わされることはありません。

「一切の邪見生死」〓小さい自己を中心として物事を考えるのが邪見で、生死は人生の変化であります。

「一切の法を持つが故に」 〓仏さまのお心を本当に知った時には、良いことが心の確かな基盤となって、  
「仏の境界に進むまでは決して怠るまい。後戻りしまい」という決意が涌くのであります。

若し衆生あつて是の経を聞くことを得るは、則ち為れ大利なり。所以は何ん、若し能く修  
行すれば必ず疾く無上菩提を成ずることを得ればなり。

「もし世の中の人がこの経を聞くことができれば、大きな利益を得たことになります。なぜならば、もし  
その経をよく修行すれば、必ず無上菩提を成ずることができるところであります」

其れ衆生あつて聞くことを得ざる者は、当に知るべし、是等は当れ大利を失えるなり。無  
量無辺不可思議阿僧祇劫を過ぐれども、終に無上菩提を成ずることを得ず。所以は何ん、  
菩提の大直道を知らざるが故に、險徑を行くに留難多きが故に。

「もし世の中に、このみ教えを聞くことができない人がいるならば、それは大利益を失っている人と知ら  
なければなりません。その人は、無量無辺不可思議阿僧祇劫という、長い歳月を経ても無上菩提を成ずる  
ことができないのです。なぜかというと、『菩提の大直道を知らざるが故に』 〓大通りを歩かないで小路  
を歩いているようなもので、何のためにみ教えが説かれているかがわからないので、何を目当にして進ん  
だらよいかもわからないからです。険しい山の中の小徑に入って途中足を踏み外しそうになったり、草の

根につまずいたり、さまざまな困難に出遇って、いつまで経っても本当のことがわからないままにいる、誠に哀れなものであります」

世尊、是の經典は不可思議なり。唯願わくは、世尊、広く大衆の為に慈哀して是の經の甚深不思議の事を敷演したまえ。世尊、是の經典は何れの処よりか来り、去つて何れの所にか至り、住つて何れの所にか住する。乃ち是の如き無量の功德不思議の力あつて、衆をして疾く阿耨多羅三藐三菩提を成ぜしめたもうや。

「世尊に申し上げます。このみ教えは実に不可思議な教えでございます。私達は永い間このみ教えを学んで世尊のお心はよくわかり、実にありがたいことと喜んでおりますが、多くの人々は未だ知らずにおります。お願いです、世尊。どうかその人々のために、かわいそうと思つてこの甚深不思議のみ教えを推し広げてお説きくださいませんか。世尊、この經典はどこから来て、どういう目的に向かつていくものなのでしょうか。又、その留まる所はどこなのでしょう。これらのことが理解できれば、このみ教えの本当に尊いことがわかりましょう。どうすれば人々に、『仏の智慧』を成就する大きな心を起こさせ、努力させるようにできるのでありますでしょうか」と、大莊嚴菩薩は重ねて仏さまにお願いしたのであります。

ひろば

福祉の



# 幸せのお手伝い

くまびびりな想いの形

## 利用者さんとそのご家族との強い絆

入職以来、多くの利用者さんやそのご家族と出会い、ふれあいを重ねてきました。その中でも忘れられないエピソードがあります。それは、Aさんとそのご家族の、愛知県の篠島日帰り旅行に付き添いとして同行した時のことです。

Aさんは自閉症で、強度行動障害を持っている方です。中々、ご家族だけで旅行はむずかしいのが現状です。そのため、ご家族はいつも私と話す時に「Aという思い出を作りたいのだけれどね、中々私達ただだと外に出かけられなくて」とおっ

しゃっていました。Aさんが週末に自宅に帰っても、あまり出かけることはなく、ご家族と家でのんびり過ごすことが多いそうです。もちろん、それだけでもかけがえのない時間ではありますが、ご家族の方も高齢になってきており、少しでも息子のAさんと思い出を作っていきたいという思いがありました。そこで、私達、生活支援員が旅行をサポートすれば、利用者さんもご家族も安心して旅行ができるのではないかと考えました。

まずは、Aさんの希望を調査し、次にご家族の希望をつかいました。すると、Aさんはエビフライが大好きなとのこと、ご家族は、「静かな所に行

きたい」という要望があったので、双方の願いを叶えるため、篠島に行くことになりました。

当日は、天気も快晴で絶好の旅行日和。篠島で待っていたのは豪華海鮮ランチです。Aさんの大好きなエビフライも提供されました。Aさんはお母さんの分のエビフライも勝手に食べてしまい、お母さんは「止めなさい」と怒っていましたが、その表情はどこかうれしそうでした。食事後は近くの浜辺を散策しました。Aさんとご両親が手をつないで浜辺を歩いている姿は今でも忘れられません。その時、この日帰り旅行を企画して本当に良かったと思いました。

旅行に同行させていただいて、家族にとってその一瞬一瞬がいかに大切なものであるか、どれだけ子どもに愛情を注いでいるかがわかりました。その想いを汲み取る支援を私達生活支援員が、実

施しなくてはいけないと強く感じました。この旅行で感じた想いを忘れずに、生活支援員として利用者さんの支援を行っていききたいです。

泰山寮 グループリーダー 生活支援員 山口 真史



## 永年勤続職員褒賞授与式・助成金等交付式を挙行



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会  
～笑顔と感謝があふれる1日でした～

令和6年6月3日、法音寺本堂にて「永年勤続職員褒賞授与式」並びに「助成金等交付式」が執り行われました。

式典開催に先立ち、鈴木正修理事長（法音寺山首上人）よりご挨拶をいただき、温かいお言葉が贈られました。

「永年勤続職員褒賞は、ただ単に長く昭徳会に在籍されているということを讃えるものではありません。それだけの期間を昭徳会とともに歩み、利用者の方々の幸福に寄与し、なお今日の昭徳会の発展に貢献されているからこそ褒賞に値するものであります。今後とも職員の皆さまが健康に留意され、さらなる活躍をされるよう、心から期待をしております」

続いて、今年度は、平井誠敏施設長（名古屋若松寮）が、春の叙勲で瑞宝双光章を受章されましたので、理事長より受章祝いが手渡されました。平井施設長は「長年、一緒に仕事をした仲間や家族みんなに戴けたものだと思います。これからも皆さまに自立援助ホームのことを広く知っていただけるように活動を続けていきたいです」と感謝の言葉を述べられました。



その後、正規職員の永年勤続職員褒賞対象者45名（勤続30年3名、勤続25年6名、勤続20年6名、勤続15年13名、勤続10年17名）、勤続20年パート職員3名、助成金交付対象者23名、延べ71名に対して、賞状と褒賞金及び助成金が、鈴木理事長より、一人ひとりに直接授与されました。

助成金は、資格を取得した者に贈られます。福祉関係の国家資格だけでなく、IT・スポーツ、衛生管理者など、さまざまな資格が対象となっていますので、今年度も多くの職員が交付を受けました。

式典の最後には、永年勤続職員褒賞受賞者を代表して、勤続30年褒賞の鶴芦由未子施設長（高浜安立荘）より、謝辞が述べられました。

「この30年、私自身が誰かに影響を与え、また周りに喜ばれる存在であったらどうかと思う時もあります。施設長という大きな役割をいただいた後は、特に責任の重さに後ろ向きになることもありまし

たが、『艱難汝を玉とす』という言葉を己に言い聞かせ、置かれた場所で自分なりの花を咲かせていくことを考えてきました。今や福祉も『地域共生社会』の実現をめざし、私が入職した時代と大きく様変わりしております。さまざまな制度の隙間にいる困っている方々への支援として、保育・児童・障がい・高齢と4分野にわたり事業を展開しているこの昭徳会は、その専門性を活かし、協働することで、さらに地域の皆さまに喜ばれる法人になっていくと信じております。そして昭徳会のさらなる発展や次代を担う若い職員の方々のために、私自身も微力ではございますが、引き続き少しでも役に立てるよう精進していきたいと思っております」

式典後は、会場を浜木綿山手通本店に移し祝賀会を開催しました。「おめでとう！乾杯！」と各テーブルで声をかけ合い、話に花を咲かせていました。また、勤続30年、25年、20年の職員の皆さんにインタビューを行い、昭徳会での楽しかった思い出等を鈴木理事長の前でお話いただきました。上司や先輩、同僚への感謝の思いを伝えるなど、素敵な時間となりました。 法人本部事務局 事務員 古田 優佳

# 各分野で活躍する本学教員や学生の教育・研究内容を学長が発信しています

## 「Talk Room」マスター「日福大の「今」が見える談話室」

日本福祉大学には現在、250名程度の教員、1万人を超える学生が在席しています。

さまざまな分野で活躍する教員・学生を、原田学長がインタビューして発信する「Talk Room」マスター「日福大の「今」が見える談話室」を本学Webページで発信しています。今回はその一部をご紹介します。

### 【アートと教育の融合】

教育・心理学部子ども発達学科

教授学部長／学科長

江村 和彦 先生

保育・幼児教育学科の先生であり陶芸家でもある江村先生。専門性を活かした講義の内容や学外での活動について原田学長がインタビューした内容を紹介します。



のですか。

江村先生 ここは保育実習室ということで、保育士や幼稚園の先生をめざす学生達が、実際の保育園のお部屋をイメージできるような教室になっています。例えば、練習してきた手遊びをこの教室で発表したり、子ども役と先生役に分かれて遊びを行ったあと、「あの遊びはどうだった？」などのディスカッションも行います。また、「感性と表現」という私が担当する授業では、机の上ではなく、お遊戯室をイメージできるこの教室で創作活動を行います。例えば、みんなでトイレットペーパーを60ロールぐらい用意して、「全部出しちゃおう!!」みたいなことをします。学生達も最初は背徳感というか、やっちゃいけないことだと感じている様子でしたが、だんだん慣れてくると、こんなことは多分一生できないだろうと思って楽しむようになっていきます。ただ遊んで終わりでではなく、次の週にはトイレットペーパーに水を混ぜて粘土作りもしています。



### 〈創造性を育む保育の学び〉

原田学長 ここ（インタビューした部屋）はどんな教室な

原田学長　すごく楽しそうな授業ですね。

江村先生　彼らが現場に出ていったとき、はじめのうちは思い切ったことをするのはむずかしいかもしれませんが、学生時代にやった「思い切った取り組み」を展開してもらえるといいかなと思います。机のない教室でもできること、遊戯室のような広いところでもできること、『造形』でできることがあるよということを実践を通して学んでいきます。

〈心豊かな学びのキャンパス〉

原田学長　先生から見て、作品作りと大学で学生達に教えるということ、そのあたりはどのようにつながっているのですか。

江村先生　そうですね。授業では、比較的わかりやすく教えることに努めています。しかし、自分の作品制作については特に丁寧に教えることもなく、大人が好き勝手作ってるな、あんなもの売れるんだらうかと思われながらも、夢中で何かを作っているおじさんだっというところを見せられたらいいなと思っています。

原田学長　これから考えた時にどんなキャンパスでありたいか、



どんなキャンパスにしていきたいか、先生なりに考えていることなどはありますか。

江村先生　日本福祉大学の美浜キャンパスは知多半島の先端にあるので、どうしても地の利が気になるところではあります。ただ、学生達に「なぜこの大学を選んだの?」と聞くと、「美浜キャンパスののんびりした雰囲気でしたかったから」とか、「都会で保育を学ぶよりも、自分はこの環境が好きだから」と答えてくれる学生が少なくありません。この環境をフルに活かした保育の学びをここから発信していきたいと考えています。

原田学長　最後になりますが、学生達に向けたメッセージをお願いします。

江村先生　辛いことがあっても、絵を見たり、映画を見たり、音楽を聞いたりするなかで、「これおもしろいな」って思うものが一つあると、気分転換ができると思います。アートの限らずですが、自分自身を表現する楽しさを十分味わうことができる何かを見つけることで、心豊かな大人になってもらえたらなと思います。

このほかにも多くの教員・学生のインタビューを掲載していますので、ぜひご覧をいただければ幸いです。

学園広報室　室長　榊原　裕文

日本福祉大学 トークルームマスター

検索



## 幸せの種まき

# 丁寧な言葉遣い 相手を思いやる 優しい言葉で接しましょう

人間関係の基本は  
こだわりを取り去り  
お互いが安心できるように  
思いやりの心をもつことです

大乗山 法音寺

## 編集後記

今年の御開山会には昭徳会の方々だけではなく、日本福祉大学及び株式会社エヌ・エフ・ユーの方々も参加されました。境内大階段の前に設置された日本福祉大学とエヌ・エフ・ユーのブースでは、AI（人工知能）が搭載された愛らしいペットロボットが紹介されていました。話をしている人の方へ向き、体をなでると目を細めて喜ぶ動作にとっても癒やされました。

さて今月号で山首上人さまは、言葉が人に与える影響についてご法話くださいました。私達は日々、何気なく言葉を使っています。時には「あんなことを言わなければよかった」と後悔することもあります。「言葉は人を喜ばせ、勇気を与えることもあれば、逆に人を悩ませ、苦しめることもある」ということを私達は日頃から意識する必要があります。そして、言葉の裏側にある心が何より大切に思えるのは、言葉で失敗する時は、大抵相手に対する思いやりの心が足りなかった場合だからです。言葉を持たないペットロボットに不覚にも心を掴まれたのは、その視線に優しい心を感じたからなのかもしれません。



# 悪口から卒業

竹中 淳











日曜日



蓮くん  
今日練習  
来なかったね



あいつ…

翌日

おい蓮  
試合が  
近いのに  
なんで  
きのう練習を  
休んだんだよ



なんだって  
いいだろ



3年の田中の  
ことか？

これ以上聞かないでよ  
ボクの口から悪口が  
あふれてきちゃいそう…



なんだよ



いいから  
ちよつと来て

そういうことね  
だから あんなこと  
聞いてきたんだ



話って？



タケルくんから  
聞いたよ



下級生に  
レギュラーを  
とられて  
落ちこんでる  
んだって？



おしやべりな  
ヤツめ

蓮くんは  
チーム内で  
どんな選手？



何を  
突然



どんな選手？  
よく三振するし  
コントロールも  
悪いし：  
だからレギュラー  
はずされたん  
だらうね



どうしてそんなに悪い  
ことばかりがすの？

いい所  
あるでしょ

いつもよく  
練習してたじゃない



練習？  
…ああ



3年の時  
短距離走でめっちゃ  
足の速い子がいてね

その子に  
追いつきたくて  
よく一緒に練習  
したよ



しばらくして走り勝った  
時は うれしかったな



それから野球を始めて  
早くうまくなりたくて  
タケルと暗くなるまで  
守備練習したよ

だから走ることに  
守備は大好き



なによー  
いい所 いっぱい  
あるじゃない

頑張った自分を  
ほめてやらなきゃ

え  
ほめる？





ひと  
人となんか比べず  
自分に 自信を  
持つて！

そうすりゃつまんない  
ひとくちや嫉妬なんか  
人の悪口や嫉妬なんか  
パツとどこかに  
飛んでいっちゃうから



そうか：  
今の自分に  
もっと自信を  
持つていいんだ

よし  
ボクも頑張つて  
レギュラーを  
めざすぞ



代走  
背番号 10 南

南先輩！  
頼みますよ

おう



打ったあ

いいぞ！



南！  
行くぞ

はい

おしまい

# 法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…  
人々を本当の幸せにする仏教の精神で  
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、  
差別を受けたハンセン病を患った人々に  
寄り添い、様々な事情で親をなくした  
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に  
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。  
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を  
運営する中で、本当に人々を救済するには  
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、  
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・  
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を  
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に  
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。  
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、  
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、  
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





# 悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる  
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂  
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

### SNSでつながる法音寺

法音寺公式  
**facebook**で  
毎朝7時  
『一日一言』  
配信中!!

こちらの  
QRコードから  
ご覧いただけます。



毎週火曜日  
**法音寺メールマガジン**  
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、  
人にやさしく生きていくための  
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから  
メールマガジン登録フォームを  
ご覧いただけます。



**YouTube**にて  
**法音寺チャンネル**  
開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjimovie>

こちらのQRコードから  
法音寺紹介動画を  
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

### 法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

#### 社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10  
TEL (052) 831-5171  
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

#### 学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6  
TEL (0569) 87-2211  
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

